

第一支部

第一支部情報

今後の予定

ア. 浦和区健康まつり

日程：平成 28 年 11 月 6 日（日）

会場：浦和コミュニティセンター（浦和駅東口コンナール 10 階）

主催：浦和区役所保健センター

協働：アシスト浦和 21

内容：（1）医療で用いる放射線検査についての説明

（2）骨密度測定の実施

第二支部

平成 28 年度 今後の事業に向けて

所沢ハートセンター 柴 俊幸

平成 28 年度始まりから約二ヶ月が過ぎ、事業も着々と開催されております。大きな事業では関東甲信越診療放射線技師学術大会が大宮にて開催されました。担当させていただいた情報交換会では多数のご参加を頂きました。第二支部事業では第一・二回の勉強会が終了となったところですが、定期勉強会以外の循環器 CT セミナー、Dual-energy CT セミナー、骨軟部撮影セミナー、そして支部合同勉強会など、多数の企画が待ち受けており、打ち合わせもどれがどれだか分からずにスケジュール表とにらめっこをする日々です（眺めるだけで何の解決もしていません）。いずれも支部を超えた皆さま方に実行委員としてお手伝い頂いており、その道のスペシャリストとお仕事ができることがとても光栄で刺激的な時間を過ごさせていただいております。

さて、第二支部ではこのように主催者側や実行委員、参加者も皆さまが有意義な時間を過ごし、明日から使える知識・技術を持ち帰っていただく参加者一体型の勉強会を盛会とするために今後ともご協力とご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

また昨年度も含めた勉強会開催報告は、座長集約をもちまして報告とさせていただきます。

平成 27 年度 第 6 回勉強会 座長集約

埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 河原 剛

セッション 1『アルツハイマー型認知症治療における現状と展望』は、アルツハイマー型認知症に対する治療薬について、販売元であるエーザイ株式会社、小野薬品工業株式会社、第一三共株式会社より薬剤の効能・効果、使用方法について講演を頂いた。

アルツハイマー型認知症により失われた記憶能力や精神機能を回復させる治療法はまだないが、適切な治療により症状の進行を緩徐にすることができる。そうすることで、軽度、中等度、高度と進行していく症状を遅らせる＝患者の“本人らしく”生活できる時間を長くし、家族、介護者の負担軽減にもつながるという。

薬剤は 2 つに分類され、アセチルコリンエステラーゼ阻害薬と NMDA 受容体拮抗薬に分けられる。アセチルコリンエステラーゼ阻害薬は、神経伝達物質の一つであるアセチルコリンを分解してしまうアセチルコリンエステラーゼを阻害しアセチルコリンの濃度を高め、脳内の神経伝達を助ける働きをする。それに対し NMDA 受容体拮抗薬はグルタミン酸の濃度上昇を防ぐことで伝達物質の運搬を整え、神経細胞への負担を減らし結果的に脳神経細胞の破壊を防ぐ働きをする。

この 2 種類の薬剤は機序、効能も異なることから進行度次第で併用可能とのこと。今回講演をいただいたエーザイ株式会社、小野薬品工業株式会社では、アセチルコリンエステラーゼ阻害薬であるアリセプト（エーザイ株式会社）、リバスタッチパッチ（小野薬品工業株式会社）の紹介をいただいた。第一三共

株式会社には、NMDA 受容体拮抗薬である、メモリー（第一三共株式会社）の紹介をしていただいた。

日ごろ、アルツハイマー型認知症疑い、患者の検査を行っているが、実際の治療方法や薬剤について触れる機会は少なく、大変参考になる内容であった。講演内容も薬学的知識が乏しい私にも理解できるよう配慮した内容で、講演いただいた3社のMRの方々へ厚くお礼申し上げたい。

セッション2『認知症における画像診断の役割』では、CT、MRI、核医学からSPECT、PETそれぞれについて4つの講演をいただいた。

CTについては、小川赤十字病院の寺内さまより講演いただき、多岐にわたる認知症の概要についてCTの臨床所見を交え詳細な報告をしていただいた。本セッションの導入部分ということもあり非常に分かりやすく、認知症の分類を行う上で必要な脳血管障害、器質的疾患の除外の必要性など大変参考となる講演であった。昨今のCT検査では頭部検査であってもボリュームデータの取得が可能でAxial断面のみならずMPRにより多方向からの観察が可能となり、より詳細な画像取得が診断の一助となっている。

MRIについては、埼玉医科大学病院の小川さまより、自施設の認知症患者検査時のプロトコルおよびシーケンスの紹介と、昨今国内の多施設で導入されているVSRAD Advanceについて臨床症例を交え報告していただいた。VSRADとはVoxel-Based Specific Regional Analysis System for Alzheimer's Diseaseの略で、健常者データベース（平均画像・標準偏差画像）と臨床画像を比較し、萎縮部位を抽出する解析ソフトである。萎縮部位をz-scoreを用いて評価し、視覚的にも分かりやすく認知症診断の補助ツールとして用いられているといった内容であった。

核医学検査SPECTでは、済生会川口総合病院の城處さまより講演いただき、認知症の診断をより確定的に行う上で必要な脳血流シンチ、心筋交感神経シンチ、脳線条体シンチについて詳細な報告をしていただいた。脳血流シンチはCTやMRI検査と比較し、局所的な脳血流量低下部位を評価でき、標準脳データベースを用いた解析ソフトを併用することでより多くの情報を得ることは認知症診断に有用であるとのことであった。また心筋交感神経シンチ、脳線条体シンチでは他の検査では得ることのできない体内分泌物質の類似物質を標識したRI薬剤を使用することで、代謝情報を画像化し、視覚的、定性的に評価できる。この検査結果を用いて、前者では交感神経機能、後者では黒質線条体でのドーパミントランスポーターの機能を調べることで、アルツハイマー型認知症、レビー小体病、パーキンソン病またはパーキンソン症状を伴う各神経性疾患の鑑別の一助となっている。しかし、これらの代謝画像より得られるさまざまな情報も、表示値を全て鵜呑みにするのではなく、検査時の収集条件や既知の前提条件を把握し検査に臨む必要があると述べていた。

核医学PET検査では、東京ベイ先端医療・幕張クリニックの三本さまより講演いただき、PET/CTを用いた認知症診断について、国内でも数少ない認知症診断用RI標識薬剤を用いた画像診断について報告していただいた。現在、国内で行われているPET/CT検査のほとんどはデリバリーによる ^{18}F -FDGを用いた全身糖代謝診断を目的とした、いわゆる“がん”の全身検索およびステージングであるが、PET用RIの生成可能なサイクロトロン所有の施設においては、 ^{18}F 以外のRIおよびさまざまな標識薬剤を使用した検査が可能である。アルツハイマー型認知症では、脳内の β アミロイドの沈着とその進行に

よる神経細胞内のタウという異常蛋白の集積から神経細胞が破壊されるアミロイド仮説が知られており、 β アミロイドの沈着を画像化することで、早期にアルツハイマー型認知症を診断するための研究が盛んに行われているとのことだった。アミロイドの画像化には、11C - PIB という RI 薬剤が用いられており、近年は 18F を用いた標識薬剤合成装置も認可され、デリバリーでもアミロイドイメージングが可能となる日は近いと報告があった。

認知症診断に関わる画像診断は多岐にわたり、特に核医学検査は設備環境、費用、医療機関の役割などの理由によって保有していない施設は多く、実際検査に直接携わることのできる診療報酬は少ないかもしれない。しかし、検査方法や診断方法を把握しているか否かで検査に臨む姿勢は変わるのではないだろうか。単調に検査をこなすだけでなく、他のモダリティの検査内容を鑑みながら自身の検査を省みることによって今まで見えなかった所見が見えるようになることもあると考える。私自身、今回の座長を務めさせていただいたことで、以前よりも広い視野を持つ必要性、重要性を再確認させられた。このような貴重な機会をいただいた、第二支部理事の大西さまをはじめ役員の方々、講演いただいた講師の方々に改めて厚くお礼申し上げます。

第 1 回第二支部勉強会 座長集約

JCHO 埼玉メディカルセンター 八木沢 英樹

平成 28 年 4 月 28 日（木）、国立障害者リハビリテーションセンター 4F で、第 1 回第二支部勉強会が開催された。セッション 1. 一般研究の座長を務めたのでここに報告する。

演題 1. 「FPD 搭載乳房用 X 線装置における空間分解能（以下、SCTF）の評価」熊谷総合病院 亀山枝里氏から発表をいただいた。日常精度管理としての 1shot ファントムと ACR 推奨ファントムでの SCTF 安定性・管理方法の検討について。検討方法は① 1shot ファントムと QC ソフトウェアで解析② デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアルに準じ測定、各測定方法で求めた SCTF を比較。結果、両者 ROI の大きさによる違い、日ごとの変動も少なく安定性があった。また 1shot ファントムの QC ソフトは解析時間が早く日常精度管理には大きく貢献できる。よって 1shot ファントムでの管理は可能であるということであった。新しい測定ファントム・解析ソフトが販売されメーカーの説明をうのみにするのではなく検討してみることが重要と考える。

演題 2. 「RIS 及びワイヤレス FPD 搭載ポータブル X 線装置の使用経験」三郷中央病院 長坂 純氏から導入前後の使用経験の発表をいただいた。装置の特長は、RIS を搭載・モニター内蔵型のワイヤレス FPD システムである。CR から無線 FPD になり、検査オーダーをポータブル側で受信・画像配信ができることは画期的な変化であったと思う。実際のワークフローと利点・問題点を挙げて検討していただいた。新型装置では過去画像・撮影条件の確認、撮影の場所での画像確認・転送、ワークフロー時間短縮は大きな改善であると考え。その他に問題点は必ずあり、これをいかに克服するかが技師の技量にも関わってくると考える。これから導入を検討している施設には良いアドバイスになったと思われる。

演題3.「局所励起技術と臨床応用について」GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR営業推進部 プロダクトスペシャリスト 池田 陽介氏から特殊な局所励起撮影法 (FOCUS) について発表をいただいた。これは1.5T・3.0T共に使用が可能であり、2DRF Excitationという技術を基本原理としているようである。主な利点は画像ボケが少ない・分解能の向上・歪み改善。通常のDWIと比べて有効視野が狭くそのため空間分解能が高くなり、組織・病変の辺縁が明瞭に抽出できる。横断面・矢状断・冠状断などの撮像にも効果を発揮する。臨床では、脳梗塞における高分解能撮像、病変の小さい膵臓がんの検出・整形系の手や指、また膀胱腫瘍・子宮がんを多方向から分解能高く撮像できる。小さなFOVでも折り返しアーチファクトがなく、高分解能で歪みの少ない撮像が可能で幅広い部位で活躍が期待できる。

平成28年度第一回勉強会 特別セッション座長集約

西狭山病院 小澤 昌則

4月の勉強会ということもあり、ビギナー向けの企画でした。大テーマはスライス面内分解能です。はじめに分解能の総論として空間分解能の持つ意味や、MTFでの評価について越谷市立病院の関根先生にお話をいただきました。各論の前に、総論で空間分解能の基礎を理解していただいた方が話も重複せず深慮いただけると考えていたからです。その旨をよくご理解いただいた要点を押さえた内容の講演でした。次に各論ですが、各先生方には打ち合わせ時にお願いしたことがありました。物理特性はただでさえ取っ付きにくい分野であります。それはMTFなどのグラフやファントム上の説明が多いからです。(仕方ないのですが)しかし、臨床画像を絡めることによって興味も湧きますし理解が深まると考えています。そこで必ず臨床画像から導入することとMTFなどの特性を臨床画像でも表現することを依頼しました。データや基礎実験は臨床に生きてこそ価値があります、逆に臨床に反映されないデータは興味を持って修得しようとはなかなか思えません。ビギナーズセミナーですからまず取っ掛かりとして物理特性と臨床画像のつながりを伝えていただきたいという私の思惑にご賛同いただき先生方には感謝しております。

各論の内容は以下の3講演でした。焦点サイズと検出器サイズについて 所沢ハートセンター 柴先生、view数について 済生会川口総合病院 豊田先生、再構成関数・再構成FOVについて 上尾中央総合病院 館林先生。難しい内容を非常に分かりやすく臨床での用途も示していただき聴講者は自施設に持ち帰り試したくなる内容であったと思います。その後の質疑でも臨床に則したものとデータの簡便な取得方法などが話題に挙がりました。

4人の先生方にはご尽力いただき感謝致します。いずれも素晴らしい内容でした。本内容が施設内で話題となりCT検査を一考するきっかけになれば幸甚に思います。

第三支部

第三支部だより

第三支部理事 渡部 進一

謹啓

盛夏の候、会員の皆さまにはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

本年度も約3ヶ月が過ぎ、関東甲信越学術大会、勉強会、納涼会と各行事が終了し、9月には恒例のリレー・フォー・ライフ・ジャパン2016川越が行われます。毎年、会員の皆さまには多数参加、24時間リレーや寄付などにご協力いただき感謝を申し上げます。今年は第32回日本診療放射線技師学術大会（岐阜）と日程が重なっていますが、（公益）埼玉県診療放射線技師会では参加予定ですので、学術大会に参加できない方は、ぜひ参加していただければと思います。また、初めて参加する方は「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016川越」で検索してみてください。ホームページには歴史や活動内容などが掲載されていますので、ぜひ一読されることをお勧めします。また少し先のお話しになりますが、11月には支部合同勉強会が開催されます。今年も勉強会、懇親会、宿泊が選択できますので、会員の皆さまには多数参加していただき、親睦を深めていただければと思います。

最後になりますが、第三支部ホームページでは随時、各種イベントの最新情報を掲載していきますのでぜひご覧ください。またご意見・ご要望がありましたら理事宛てまでメールをお寄せ下さい。

敬白

【今後の予定】

(1) 平成28年度 第三地区納涼会

- ア. 日 時： 平成28年7月23日（土） 19:30～21:30
 イ. 場 所： 甘太郎 川越店（川越市脇田町9-3 三経71ビル2F）
 ウ. 会 費： 4,000円

(2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016川越

- ア. 日 時： 2016年9月17日（土）13:00～18日（日）13:00 予定
 イ. 場 所： 川越水上公園 芝生広場
 ウ. 住 所： 川越市大字池辺880
 ※24時間夜通し開催 ※雨天決行（荒天中止）※無料駐車場500台あり

(2) 平成28年度 第三支部ボウリング大会

- ア. 日 時： 2016年10月7日（金）19:00 開始予定
 イ. 場 所： 川越ボウリングセンター
 ウ. 住 所： 川越市大字天沼新田318
 エ. 会 費： 1,500円予定

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 第三支部ホームページ

<http://saitama3shibu.jimdo.com/>

第四支部

第19回 秩父市保健センターまつり 参加報告

第四支部 横田 文克

平成28年6月5日(日)「第19回 秩父市保健センターまつり」が秩父市保健センターにて開催されました。

埼玉県診療放射線技師会第四支部では秩父郡市の診療放射線技師の方々とともに参加してイベントを盛り上げてきました。

朝の10時前から入場を待つ市民の方々と会場はにぎわい、開場されるやいなや、健康相談や体力測定などの催しへと足を運ぶ人々でごった返し、盛大な秩父屋台ばやしの演奏でお祭り感を高揚してくれました。

屋内の健康にまつわる催しのみならず、屋外でもさまざまな出店や催し物がとり行われ、特に毎年行われるバザーを楽しみに来場される方も多く、決して規模の大きいイベントではありませんが、手作り感満載の温かなイベントは大盛況でした。

さて、第四支部では「パネル展示」「骨密度測定」「放射線相談」「WS機器展示」「スーパーボールすくい」を企画させていただきました。

骨密度測定は毎年好評を頂き、開演から終演まで行列が途切れないほどの盛況ぶり、そのなか、パネル展示に目を向けられたり、ワークステーションの説明に耳を傾けていただいたり、放射線に関するさまざまな質問をされたりと多くの方に体験いただき、参加しているわれわれも大変充実感を得られました。

最終的に骨密度測定には400人、スーパーボールすくいには220人、医療画像展には100人、(放射線相談を含む)ほどの方々がお越しくださいました。

こうしたイベントの参加は、市民とのふれあいの場、診療放射線技師を知ってもらう良い機会であるとともに、地域の医療関係者や診療放射線技師同士の交流の場になると感じています。

こちらをご覧いただいた方々も、次は参加してみたいかでしょうか？ いい刺激になると思います。

もちろん、私は来年も参加します。

実行委員の皆さん、ご協力いただいたメーカーさん大変お疲れさまでした。



骨密度測定



パネル展示



被ばく相談



全員集合 お疲れ様でした

秩父市保健センターまつり 実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	関根 茂夫	小鹿野中央病院
清水 浩和	熊谷総合病院	吉田 真一	秩父病院
大野 渉	羽生総合病院	新井 孝史	皆野病院
萩原 貴之	行田中央総合病院	阿佐美 裕史	皆野病院
新井 偉生	東松山市立市民病院	三上 紀之	皆野病院
高井 太一	小川赤十字病院	横田 文克	秩父市立病院

協力

コニカミノルタヘルスケア株式会社 相川さま

平成 28 年度 第四支部納涼会のご案内

埼玉県診療放射線技師会第四支部
支部長 齋藤 幸夫

若鮎おどる季節、会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また第四支部運営に際しましては、日頃大変お世話になり、感謝申し上げます。

さて、表題の通り、今年度の納涼会を開催する運びとなりました。場所は公共交通機関が使用しやすい、熊谷駅前を選定しました。

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

役員一同、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日時 平成 28 年 7 月 29 日（金）19：00～

場所 旬彩ダイニング 浪漫（熊谷駅 南口より徒歩 3 分）

熊谷市宮前町 2-95 TEL 050-5789-3055

<http://r.gnavi.co.jp/8m6mxr9e0000/map/>

会費 一律 5,000 円（当日徴収致します）

なお会場の都合もありますので、参加される方は 7 月 22 日（金）までにお近くの各役員までご連絡ください。

以上

連絡先

深谷赤十字病院	齋藤 幸夫	TEL 048 - 571 - 1511
メールアドレス	houshasen@fukaya.jrc.or.jp	y-saito@sart.jp
熊谷総合病院	清水 浩和	TEL 048 - 521 - 0065
羽生総合病院	大野 渉	TEL 048 - 562 - 3000
行田中央総合病院	萩原 貴之	TEL 048 - 553 - 2000
東松山市立市民病院	新井 偉生	TEL 0493 - 24 - 6111
秩父市立病院	横田 文克	TEL 0494 - 23 - 0611
小川赤十字病院	高井 太市	TEL 0493 - 72 - 2333

旬彩ダイニング浪漫 地図 〒360-0045 埼玉県熊谷市宮前町 2-95



会員の皆さまへお願い

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第四支部では、速やかな勉強会案内・各種情報提供を行うことを目的として、皆さまのメールアドレスをご連絡いただければと考えております。

メールが届いていない会員・施設の方は、「施設名」「お名前」を記入し、
齋藤 幸夫 (y-saito@sart.jp) までご連絡ください。

これからも第四支部役員一同いろいろな企画で盛り上げたいと思いますので、よろしくお願い致します。



「第四支部役員連絡先」

深谷赤十字病院	齋藤 幸夫	TEL 048 - 571 - 1511
熊谷総合病院	清水 浩和	TEL 048 - 521 - 0065
羽生総合病院	大野 渉	TEL 048 - 562 - 3000
行田中央総合病院	萩原 貴之	TEL 048 - 553 - 2000
東松山市立市民病院	新井 偉生	TEL 0493 - 24 - 6111
秩父市立病院	横田 文克	TEL 0494 - 23 - 0611
小川赤十字病院	高井 太市	TEL 0493 - 72 - 2333

第五支部



第五支部

情報交換会

場所は春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

7月28日 19:00～(予定)

8月25日 19:00～(予定)

詳しくは SART の HP などでご案内致します。

(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

皆さまとお話ができるような企画を考えております。

テーマなど皆さんのご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。



第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



今年も越谷市民祭りに参加する予定です
日程：10/23日 越谷市役所庁舎内にて

情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

地区の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております

下記のサイトでもご案内をしています。

<http://sart-daigoshibu.jimdo.com/>



第六支部

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言 徳田 光希
2. 第六支部 新役員 挨拶
3. 平成 28 年度 納涼会 案内

巻頭言

風化させないこと

さいたま赤十字病院 徳田光希

第六支部会計を担当しております、さいたま赤十字病院の徳田光希と申します。昨年度から会計として第六支部に関わらせていただいております。支部の活動に参加することで、さまざまな人と関わり他施設を知ることができ、自分の勉強になることが大変多くあります。昨年は支部の活動についていくことが精一杯で、役員としてはあまりお役にたてませんでした。今年度は積極的に活動しようと考えています。

さて話は変わりますが、先日熊本の大地震が大きく報道されました。1ヵ月以上経った今も避難されている方が多くいます。この大震災のニュースを見て、私は自分の大学時代を思い出しました。大学時代、私は仙台に住んでいて東日本大震災を経験しました。大学一年生の春休みの中盤、アルバイトの予定があったため向かう準備をしていたところ、突然とても大きな揺れがあり、棚に置いてあった炊飯器が床に落ちました。ベランダに出ると多くの人が道路に出て動揺の色を浮かべていました。部屋に戻ると点けていたテレビや照明が消え、電話はつながらなくなりました。何が起きたのか分からず、アルバイト先に向かうことにしましたが、信号は機能しておらず交差点に車がごった返し、運転手は目配せをして事故が起きないように、ゆっくり交互に進んでいるような状態でした。また、数時間後にはスーパー・コンビニ・公衆電話に長蛇の列ができ、街中が不安に包まれているように感じました。

熊本の報道をテレビやネットニュースで見ると、自分が被災した記憶が鮮明に喚起され、何か力になりたいと心から強く思いました。これから報道は徐々に少なくなっていくと思いますが、最も大切なのはこの出来事を風化させないことだと思えます。東日本大震災の避難者は5年経過した現在でも約16万人おり、まだ支援を必要としている人達があります。熊本の震災も今後何年間かは支援が必要になってきます。被災者の方々が何を必要としているのか、自分に今何が出来るかを考え、継続して行動していこうと考えています。そして、第六支部の一員として地域医療の発展に貢献できるように精進して参りますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

第六支部 新役員あいさつ

・さいたま北部医療センター 倉内 克憲

今年度より第六支部の役員に就任しました、JCHOさいたま北部医療センターの倉内と申します。初めての支部役員ということもあり不慣れな点多々あるかと思いますが、微力ながら第六支部ますますの発展に向け自分の持てる力を最大限発揮し専心努力していきたいと思っております。これからよろしくお願い致します。

・丸山記念総合病院 木村 浩明

今年度から、第六支部役員を務めさせていただく丸山記念総合病院の木村浩明です。これまでの役員の皆さまが築き上げたノウハウを生かし、第六支部のさらなる発展に微力ながら、お力添えができればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

・大宮中央総合病院 秋谷 龍一郎

今年度より第六支部役員の総務を担当させていただくことになりました、大宮中央総合病院の秋谷龍一郎です。不慣れではありますが、支部役員の皆さまと協力し、仕事に邁進していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

・指扇病院 安川 紘平

この度、第六支部の役員を務めさせていただくことになりました指扇病院の安川と申します。初めての役員で分からないことばかりですが、少しでも六支部会員の皆さまにお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

・埼玉県立小児医療センター 春日 沙織

今年度より第六支部役員を務めさせていただきます、埼玉県立小児医療センターの春日です。初めての役員で不安な部分もありますが、役員の皆さまと協力し合い、より活気溢れる支部にしていけたらと思っております。よろしくお願い致します。

納涼会のお知らせ

第六地区納涼会を下記の通りに開催いたしますので、お知らせ致します。
時節柄、忙しいと思いますが、奮ってご参加ください。

- 1. 日時 平成28年7月14日(木)
 19時00～21時00
- 2. 場所 [ダイニングカフェ&イタリアンバル] **MARINA**
- 3. 会費 男性 4,000円 女性 3,500円



問い合わせ さいたま北部医療センター 竹内信行
TEL : 048-663-1671 Mail : loveasahibeer2009@gmail.com